

船舶事故等調査報告書

平成24年9月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012那第19号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成24年4月25日 06時18分ごろ	
発生場所	<p>沖縄県那覇港新港ふ頭10号岸壁</p> <p>那覇市所在の那覇港新港第1防波堤南灯台から真方位051° 1.1海里付近</p> <p>(概位 北緯26° 14.1′ 東経127° 40.0′)</p>	
事故等調査の経過	<p>平成24年4月25日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。</p> <p>原因関係者から意見聴取を行った。</p>	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	<p>A 貨物船 <small>エイピーエル タイランド</small> A P L THAILAND (アメリカ合衆国籍)、64,502トン 9077123 (IMO番号)、WILMINGTON TRUST COMPANY</p> <p>B 貨物船 <small>メル セバロウ</small> MELL SEBAROK (リベリア共和国籍)、9,948トン 9434802 (IMO番号)、FRISIA ILLER SHIPPING COMPANY LIMITED</p>	
乗組員等に関する情報	<p>A 一等航海士A (アメリカ合衆国籍)、免状不詳</p> <p>B 船長B (フィリピン共和国籍)、免状不詳</p>	
死傷者等	なし	
損傷	<p>A 球状船首擦過傷、係船索2本切損</p> <p>B 右舷船尾擦過傷</p>	
事故等の経過	<p>A船は、船長A及び一等航海士Aほか20人が乗り組み、那覇港新港ふ頭10号岸壁に着岸中、B船は、船長Bほか16人が乗り組み、A船前方の那覇港新港ふ頭9号岸壁に着岸作業中、平成24年4月25日06時18分ごろA船の船首とB船の右舷船尾とが衝突した。</p> <p>一等航海士Aは、出港準備のために船首で喫水を確認しているとき、B船がA船の方に向かってくるのを確認した。</p> <p>船長Bは、B船を9号岸壁に着岸させようとしていたが、船尾方向から風を受けて十分に減速することができず、B船の船首がA船の船首に衝突しそうになったため、着岸を諦めてA船の右舷側を通過して着岸をやり直そうとしたが、風によって圧流され、B船の右舷船尾とA船の球状船首とが衝突し、A船の係船索2本が切断した。</p> <p>B船は、衝突後に着岸をやり直し、新港ふ頭9号岸壁に着岸した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 南、風力 5、視界 良好</p> <p>海象：潮汐 上げ潮の中央期</p>	
分析	乗組員等の関与	A なし、B あり
	船体・機関等の関与	A なし、B なし
	気象・海象の関与	A なし、B あり
	判明した事項の解析	A船は着岸中、B船は着岸作業中、那覇港内において、A船とB船が衝突したものと考えられる。

	<p>船長Bは、風力5の風を受けてA船の右舷側を通過しようとした際、風を考慮した操船を行わなかったことから、風により圧流され、B船とA船が衝突したものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、那覇港において、A船が着岸中、B船が着岸作業中、船長Bが風を考慮した操船を行わなかったため、B船が風により圧流されてA船と衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>